



まち ひと な まえ
町や人の名前になった!

いえ やす でん せつ
家康のおもしろ伝説

みょう じ へん
～名字編～

ここでは、人の名字
にかかわる家康伝説を
しらべてみよう。



せっしゃ たす
拙者を助けて
くれたお礼に与えた
名字じゃ!

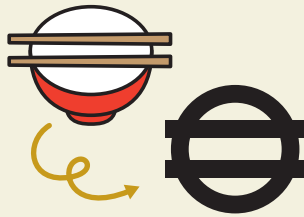
名字のおもしろエピソード

お が い
①「小粥」さん

たたか ま に かえ
戦いに敗けて逃げ帰るときに、お
なか
腹がすいた家康は、ある農家で老
ふう ぶ かゆ
夫婦からお粥をごちそうになっ

た。家康は後にお礼として「小粥」という名字を与えたんだっ
て。小粥家に伝わる家紋は、家康がお粥を食べた後にお茶碗
うえ ばし お かたち
の上にお箸を置いた形となっているよ。家康は「ごちそうさま。
あなたのおかげで助かったよ」といったのかもしれないね。

※「小粥」は、おがい、おかゆ、おかいなど読む



しら お
②「白尾」さん

はい そうちゆう はち まん ぐう おお くう どう
家康が敗走中に浜松八幡宮にあった大きなクスノキの空洞
にかく かく うま しろ お まる み
に隠れていたとき、馬の白い尾がクスノキの空洞から丸見
えだったんだ。でも、近所の農民が、すぐそのことを家康
に教えてくれたので、敵にみつからずにすんだんだって。
家康は、その農民にお礼として「白尾」という名字を与えた
といわれているよ。



くもだち くす
▲ 浜松八幡宮の雲立の楠

けん きゆう
! 研究のヒント

ほかにも家康に関わる地名や町名があるかもしれな
いね。調べてみよう!

